

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	あくもキッズ		
○保護者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2025年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年2月10日		～ 2026年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月5日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスの連携事業所ができたこと	これまでは、児童発達支援のみの事業所だったが、関連の放課後等デイサービスの事業所への移行を勧めやすくなった。	情報共有や職員間連携をしっかりと、継続的な支援を行えるように協力していくようにする。
2	大型遊具を施設内に配置出来ていることやプール活動を実施していること	大型トランポリンや円盤ブランコなどを用いることで、多くの感覚を子どもたちに受容させることができています。またプール活動では、スイミング専門のコーチが支援をおこなってくれてくれています。	子どもたちの興味関心を引くことができるような大型の遊具を定期的に配置していきけるようにしていく。
3	子どもたちの活動の様子の画像を保護者に提供するサービスをおこなうこと	ご希望の保護者様に対して、活動の様子を定期的にLINEを通じて発信することで活用しやすいサービスとなっている。	個人情報の取り扱いに注意しながら、情報発信の頻度を向上させていけるようにしていく。大変好評を頂いている取り組みである。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が大きくなるにつれて、職員間の連携が出来ていない時がある。	情報共有アプリなどを用いて、職員間で大切な情報を共有しようとしている。	情報共有の発信が必要なものかの判断は、人によって異なるので、発信者を決めることで、責任をもって行うようにしていく。
2	他施設(保育園、こども園、小学校等)との情報交換が積極的に出来ていない。	子どもたちの情報交換をおこなっている施設もあるが、それができていない施設の方が多い。	当事業所の情報交換を積極的におこなっていくことで、他事業者からも情報を受容していただけるようにしていく。
3	スーパーバイザーなどからの助言を受けていないこと	分からないことなどがあれば、ネット検索や経験豊かな職員から、助言を頂くようにしている。	外部からの有識者からの助言も大いに必要なので、今後どのようにしていくかを検討していく。